

めあて

意見文のテーマを決定し、原こうメモを作成しよう。

活動の流れ

① 意見文のテーマを決定する

- 敬語
- 共通語と方言
- 色を表す言葉 など

② そのテーマにふさわしい情報を集める

- これまでの国語の教科書や日本語の特性について書かれた本から情報を集める

③ 原こうメモを作成する

- 「序論」「本論」「結論」の順序で書くこと
- 「説明の技」を二つ以上使って書くこと
  - ・ 具体例
  - ・ 見方を変える
  - ・ 問いかけ・語りかけ
  - ・ たとえ

【5・6 / 9時間目 指導路案】 使用するワークシート「豊かな日本語の使い手になろう」⑤  
本時のねらい

日本語についての自分の考えをもたせ、原稿メモを作成させる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

- 日本語についての意見文のテーマを決定し、原稿メモの作成を行うことを確認させる。

○ 板書を基に、活動の流れを把握させる。

※ これまでの国語の教科書や日本語の特徴について書かれた本を準備しておき、意見文のテーマを決定させる際に読めるようにしておきます。

※ 児童の思考が途切れないように、二時間連続で行うことが望ましいです。

2 意見文のテーマを決定する。

○ 何のテーマについて意見文にまとめるのかをワークシートに書かせる。

○ その意見文で最も言いたいこと（主張）を一文でワークシートに書かせる。

※ 意見文のテーマを決定させる際、「意見文のテーマ例」（別紙）を参考にしてください。

※ テーマを決定させるだけではなく、どのような主張を行うのかを考えさせることが重要です。

3 テーマにふさわしい情報を集める。

○ これまでの国語の教科書や日本語の特性について書かれた本から情報を集めさせる。

※ 必要に応じて、付せんを貼らせたりコピーを取っておかせたりすると便利です。

4 原稿メモを作成する。

○ 「序論」「本論」「結論」の順序で、ワークシートに書かせる。

○ 「説明の技」を二つ以上使うという約束を提示し、原稿メモの下に使いたい「説明の技」を記入させる。

※ 筆者の「説明の技」を二つ以上使って書くという約束を提示するとき、どのような「説明の技」があるのかを前時のワークシート④を使ってもう一度確認させましょう。

評価 これまでの国語の教科書や日本語に関して書かれた本の中から、自分の考えにふさわしいものを選んで読んでみる。  
文章全体の構成を理解している。  
(言イ(キ))  
(読カ)

5 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ ワークシートに自己評価を記入させる。

○ 次時からは、原稿メモを基に、日本語についての考えを意見文にまとめていくことを確認させる。